

◆シリーズの特色◆

単行本化の度に描きかえては切り貼り、編集し、時には結末まで変更される手塚漫画。常に進化を求めた巨匠の姿勢は、単なる読者サービスの域を超え、まさに“編集狂”と呼ぶにふさわしい大胆かつ鮮やかなものです。

時代に応じた台詞の変更から、判型に合わせた描き直しや描き直し、さらには絵柄の改変まで。改訂の理由は様々ですが、ファンなら一度はオリジナル版で読みたいところ。何しろ後年の版では、原稿紛失によるトレスやエピソードごと丸々カットなんて荒技まで確認出来るのですから。

そんななか、本シリーズでは、オリジナル版未読のファンの期待に応えるべく、各作品を掲載誌からダイレクトにスキャン。最新のデジタル処理を施すことで、発表時のオリジナル版の風合いのまま単行本化を実現しました。しかも、これまで単行本化の際に再現されなかった美しいカラーページも忠実に復刻、さらにイラストや別冊付録まで網羅します。

手塚ファンはもちろんのこと、全ての漫画ファンに送る永久保存版。待望の復刻シリーズです。

各巻予価：15000～20000円

各巻体裁：B5判並製3冊(各約250頁)、別冊
函入/カラー(4色・2色)・モノクロ

初版完全限定出版

プロデュース……古徳稔(手塚プロダクション)

企画・編集……森晴路(手塚プロダクション)、濱田高志

監修……手塚プロダクション

デザイン……山田英春

全巻購入者豪華特典!

本シリーズ(『W3』『バンバイヤ』『どろろ』)全巻購入者全員に、
各作品の複製原画(A3判・全5枚)をプレゼント!

各巻についている特典券を切り取り、
書籍に封入された特典請求カードに
貼ってお送りください(請求締め切り
は最終巻記本の6か月後)。



国書刊行会

〒174-0056 東京都板橋区志村 1-13-15 Tel: 03-5970-7421 Fax: 03-5970-7427
http://www.kokusho.co.jp e-mail: info@kokusho.co.jp

帖合・書店印

申込書

国書刊行会「手塚治虫 トレジャー・ボックス」全巻を購入します。

お名前

ご住所

お電話

※必要事項をご記入のうえ、書店へお渡しく下さい。

『W3』ISBN978-4-336-05473-9 『バンバイヤ』ISBN978-4-336-05474-6 『どろろ』ISBN978-4-336-05475-3

手塚治虫
トレジャー・ボックス
全3巻



国書刊行会

©手塚プロダクション

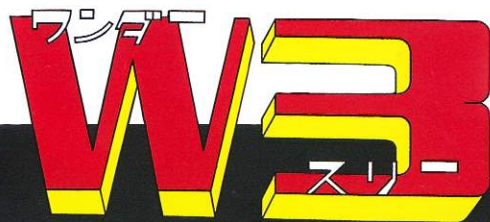
手塚マンガ黄金期の大人気作、 〈雑誌オリジナル版〉がついに完全復刻!!

胸躍るSFからピカレスクロマン、妖気漂う冒険譚まで……

数多ある手塚漫画のなかでも絶大な人気を誇る3作品(W3 ワンダー・スリー)〈バンパイヤ〉〈どろろ〉を、雑誌掲載時のまま美麗箱に入れて完全復刻。これぞまさに宝箱だ!!

2期(全6巻)にわたる刊行で好評を博した〈手塚治虫オリジナル版復刻シリーズ〉。それに続く新たな企画が〈手塚治虫トレジャー・ボックス〉(全3巻)です。前シリーズと同様に、今まで単行本化されることのなかった〈雑誌掲載オリジナル版〉を完全復刻。雑誌そのままの大判サイズで、カラー扉や別冊付録も完璧に再現した豪華愛蔵版でお届けします。

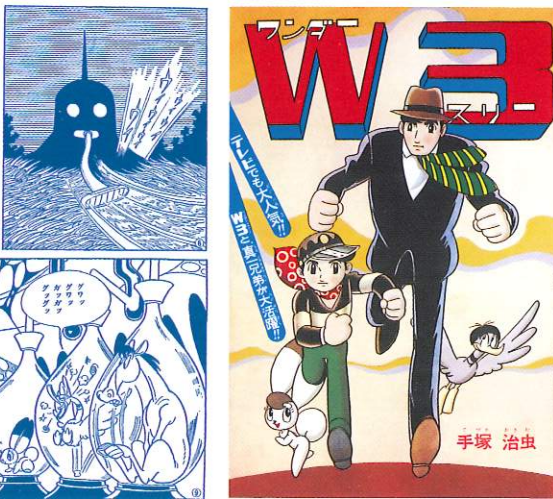
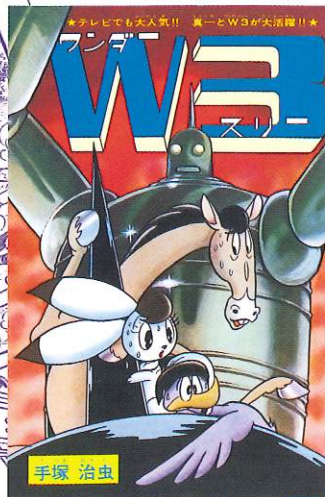
ファン間で完全復刻が熱望されていた『W3』(週刊少年サンデー版/週刊少年マガジン版)、『バンパイヤ』(全2部)、『どろろ』(週刊少年サンデー版/冒険王版)の3作を初めて雑誌掲載オリジナル版として刊行。いずれもTVアニメ化かTVドラマ化、映画化された作品で、今なお人気の高い手塚治虫の中期代表作です。



第1回配本(2012年2月下旬刊行予定)
『W3 ワンダー・スリー』 定価 15750円(税込)

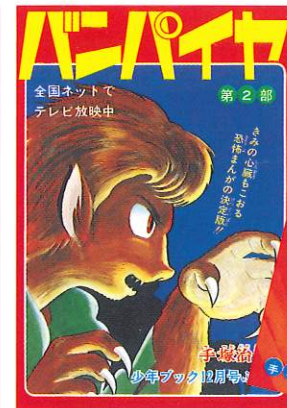
初出
『W3 ワンダー・スリー』『週刊少年サンデー』(小学館刊)1965年5月30日号~1966年5月8日号連載。
『W3 ワンダー・スリー』『週刊少年マガジン』(講談社刊)1965年3月21日号~1965年4月25日号連載(未完)。

『週刊少年マガジン』で連載されるも6回で中断、『週刊少年サンデー』で新たに連載され直したといういわくつきの本作は、TVアニメ、特撮ブームのなかで描かれたSF作品。野蠻で危険な地球を滅ぼすか存続させるか。銀河連盟はその答を得るためにW3(ワンダー・スリー)と呼ばれる3人の調査隊を地球に派遣した。そこで出会った少年真一とW3の活躍と心のふれあいを描いた、タイムパラドックスを交えた傑作。本巻には『週刊少年マガジン』版を含む全てのエピソードを収録。同梱のオリジナル冊子にはカラー扉や手塚自筆によるアニメ版の貴重な資料も掲載!



従来の正義感溢れる少年から一変、悪魔のような少年を演じたロックこと間久部緑郎の魅力が横溢した本作は、「悪とは何か」をテーマに、変身による人間の獣性の解放を描いた異色のピカレスクロマン。人間とバンパイヤー族との対立を軸に、光と闇、善と悪などを対比させながら文明批評的視点を導入しつつ、手塚のなかにあるメタモルフォセス願望や怪奇・猟奇趣味を絡めて展開する極上のエンタテインメントである。本巻には『週刊少年サンデー』に連載された「第一部」とテレビドラマ化に合わせて『少年ブック』に連載された「第二部」を収録。本編以外にも別冊付録(2冊)も復刻!

初出
『バンパイヤ 第一部』『週刊少年サンデー』(小学館刊)1966年6月12日号~1967年5月7日号連載。
『バンパイヤ 第二部』『少年ブック』(集英社刊)1968年10月号~1969年4月号連載(未完)。



第2回配本
(2012年5月下旬刊行予定)
『バンパイヤ』

第3回配本(2012年8月下旬刊行予定)
『どろろ』

権力の欲求に取り憑かれた父の犠牲になった百鬼丸は、身体の48カ所を妖怪に奪われた姿で誕生した。川に流されたところを医者に拾われ、義手や義足を心得て成長した彼は、自らの肉体を取り戻すべく妖怪退治の旅に出る。そんな彼の義手に仕込まれた刀を狙ってつまとう野盗のこども、どろろ。二人の行く手に現れる妖怪との死闘を描いた本作は、手塚にとって時代劇としては初の週刊連載だった。妖怪ブームのさなか劇画タッチを取り入れて『週刊少年サンデー』で連載が始まるも未完に終わり、のちにテレビアニメ化に伴って、発表の舞台を『冒険王』に移して連載が再開。本巻ではそのすべてを収録し、さらに単行本未収録の雑誌巻頭豪華イラストなども再現復刻!

初出
『どろろ』『週刊少年サンデー』(小学館刊)1967年8月25日号~1968年7月21日号掲載。
『どろろ』『冒険王』(秋田書店刊)1969年5月号~1969年10月号掲載。

